

第24回里山シンポジウム実行委員会議事録

今回は記録・原制作は鈴木様、内容を小西様が検証し、(我孫子)木下様から一部内容へのご指摘も確認した上で、荒尾(稔)が最終的にまとめました。

日時：2006年6月21日(木) 18:00~20:55

場所：千葉市中央コミュニティセンター 62 講習室

参加者：金親、栗原、荒尾(稔)、井村、稗田、本間、鈴木(記録)、上善、相馬、小西、田中、林、増田
(我孫子)木下 千葉県庁の関係部署からの出席者なし。

議題

1. シンポジウムのふりかえり

出席者から率直な感想、意見がだされた。以下その要旨。

全体会について

①テーマについて

- ・良かった。
- ・ストレートなテーマで、当初は抵抗を感じたが終われば良かった。
千葉の里山の課題がはっきりみえた。
- ・第2回里山シンポジウムでの「里山と子ども」のテーマ同様に、タイムリユーで、先見性があるなどの意見。
- ・「里山とゴミ」のテーマは、まだ緒に就いたばかりであり、今後の継続した課題との意見も

②時間配分、内容について

- ・時間が足りなかった。(多数の一致した意見でした)
- ・次回は全体会の中での分科会の3分間報告をやめたらどうかの検討。
- ・午前中の分科会はやめて全体会に集中するなどの検討を要する。

③基調講演について

- ・内容は良かった。わかりやすかった。(多数意見)
- ・どの自治体にも応用できるわけではないが、自分にできることから。
- ・千葉とのギャップがある。
- ・住民と行政の連帯が良い。
- ・基調講演とパネルディスカッションの繋がりをもっと練るべきであった。
- ・行政とのすり合わせが不十分ではなかったか。同時に行政の人にこそ聞いて欲しかった

④パネルディスカッションについて

- ・時間が足りなかった。(多数意見)
- ・会場とのやりとりの時間がもっとあったらよかった。
- ・パネラー間のやり取りがもっとあればよかった。
- ・時間不足で、パネラーも話し足りない、参加者も聞き足りなかったのではないか、など。

⑤その他（準備、会場、当日の手順、広報など）

- ・来年度への課題が多く出された。
- ・入口にもっと工夫が欲しかった。
- ・会場からの発言の機会が欲しい。
- ・準備に早めに取り組んだほうが良い。
- ・金親さんの報告がタイムリーだった。
- ・会場が公共機関で行くには不便な所だった。
- ・午前中に分科会は無理ではないか。
- ・分科会報告は午前中に行ってはどうか。
- ・千葉市民ももっと来てほしかった。
- ・来年は山武市とも繋がりたい。
- ・参加者への広報について、森林関係とも話し合ったが反応がなかった。
- ・県との協働ができなかった。県も主催者なのだから実行委員会の段階から出席すべきである。
- ・八千代市さんに当日きちんと挨拶できなかった。

分科会について

- ・全体的に良かった。
- ・分科会では訴えるポイントを工夫したい。
- ・自治体の広報に載せたかったが、締め切りが早くて間に合わない。
- ・千葉市若葉区のゴミをテーマに今後やっていってはどうか。
- ・今後、趣味的でなく一般の人にも関心を持たれるようにしていきたい。
- ・分科会テーマが増えて一人で掛け持ちするところもあった。
- ・準備不足、PR不足、今後のマンネリ化が心配。
- ・里山シンポジウム実行委員会の存在価値が希薄になり、中央になっているメンバーの空回りにならぬようにしていきたい。

2. 報告書について

担当の荒尾(稔)さんから昨年よりも分科会の内容を充実させたいと、報告書の試作版を回覧した。同時に、以下発言がありました

- ・本年度は、里山シンポジウム実行委員会公式 HP 上での報告を順次掲載している。特に講師等の許諾の得られた PP ファイル等を全公開している。
- ・第3回里山シンポジウム報告書はHP上と紙媒体での報告書の2種類を作る。
- ・第3回里山シンポジウム報告書は、この7月中を目処にまとめたい。報告集であると同時に、HPとの連携によって、アーカイブス(記録集)として成果物をきちんと残していける内容にしたい。
- ・原稿を未提出の分科会は6月末までに送って下さい。各分科会A4、2P、写真入とする。
- ・シンポジウム全体会当日の3分発表時のパワーポイント原稿は、原則使いません。
- ・その内容も、報告書用に改めて組みなおしたものを載せる。
- ・HPにはPP(パワーポイント)データなど、分科会責任者より提出されたものを、原則そのままに載せていきます。

3. 会計について

担当の相馬さんから、

- ・ 清算済の分科会は1. 2. 4. (6). 7. 9. 11. 12. 13. 15. 16.
- ・ 上記以外の未清算の分科会は早急に、清算してください。
- ・ 各分科会の予算を4万としたが、下回った会の分を、足りなかった会へ廻すことを承認した。
- ・ 次年度は各分科会へ仮払いを検討してはどうか。→ 県の方は領収書がないと払えない。

4. 次年度に向けて

① 開催

- ・ 継続は力なので開催してはどうか。
⇒同様の意見が多く、継続して開催する方向
- ・ 次年度開催候補地
⇒山武市と千葉市の名前が挙がった。
山武市での開催の可能性を打診する（担当：稗田さん）
- ・ 新しい人、風を吹き込む工夫。定期的に情報を流す。
- ・ 地域・市町村との結びつきを。
- ・ 新しい里山シンポジウム実行委員会が取り組める里山の事業を。
- ・ 単なる報告ではなく、決議や政策で県民に広く理解をえる。
- ・ ぜひ、うちにといてくれる自治体で開催したい。
- ・ 規約がないので縛られないのが良い、
- ・ 皆が発言しあう場作りを大事にしたい。
- ・ 準備を早く。全体会をしっかりと、
- ・ 分科会は勉強する場に。
- ・ 里山シンポのネットワークの使命は？。当初の趣旨は里山条例を知らせること、環境税の理解、原点に立ち返るべきか。
- ・ 県へのP. Rが必要。
- ・ シンポジウムの記録をしっかりと報告書とアーカイブスに残し、良くあるお祭りにならないように。
- ・ もっと、作戦会議を。

5. 次年度の体制について

- ・ 小西副代表から、来年度は多忙のため副代表を降りたいと申し出があった。
- ・ 次回に、この件を含めて話し合う事に

6. その他

(1) 里山センターの現状報告や総会のご案内

- ・ 金親さんから、今までの経過と、今回の総会での議事内容、特に人事と予算絡みでの動静が報告された
- ・ 今月25日に総会が開催される。里山シンポジウム実行委員会のメンバーには正会員も多く是非とも

総会に参加して、意見を述べて欲しいとの申し出。

- ・ ちば里山センターと、里山シンポジウム実行委員会とは、原点からもう一度接点を探って、話し合いと、協働出来る場があれば検討すべきとの意見も。
 - ・ 全体会等での両者間での日程調整等を最小限行うべきとの意見も
- (2) 参加者名簿の整備、そして協賛先の皆様との関係の強化も
第3回里山シンポジウムに参加頂いたビジターの皆様も、アドレスを整備登録してNEWSを流して委員会への参加や各種催しへの参加を促す
- (3) 運用資金の件
第3回里山シンポジウム報告書の印刷費用の件、HP制作費用等の検討に関して次回以降に話し合いさらに、資金確保のための話し合いは次回以降に持ち越す。
- (4) 次回、里山シンポジウム実行委員会会議の日時は未定です。後刻決定次第報告をします。